

ドイツの社会と文化 (その1)

2 units 2nd-year(1st semester)

Wolfgang Herbert · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 授業の目的は社会学的な想像力を身につける事。ドイツ、オーストリーの社会問題と趨勢を取り上げる。ライフスタイル、価値観の多様化、若者文化、外国人排斥思想、移民受け入れ理論、グローバル化、高齢化問題、オーストリー、ドイツの社会学的、文化的に興味深い事象を紹介します。

⇒ Herbert (+81-88-656-7145, wolf@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 656-7145, wolf@ias.tokushima-u.ac.jp)

Note) 授業は日本語で行われます。

Outline) ドイツ、オーストリーの社会の時事問題

Notice) 受講者にレポートを発表させます。居眠り厳禁

Goal) 様々な社会的なテーマ、問題について好奇心を持つようになり、視野を広げること。

Schedule)

1. 社会学入門:社会学とは何か,
2. ライフスタイル. 文化社会学: Pierre Bourdieu
3. Bourdieu 理論のキーワード:資本, ハビトウス, 階級, ディステンクシオン等
4. エリートを生む学歴社会:ドイツとフランスの教育制度
5. Gerhard Schulze: 現代ドイツ社会の分析, その理論と研究デザイン
6. 日常生活の社会学:ドイツの主な五つの生活様式
7. ドイツ社会のライフスタイルグループの具体的な描写
8. ドイツの主流社会から排除されているグループ
9. 移民社会としてのドイツ:外国人受け入れの歴史と現状
10. 排斥主義と国家主義とネオナチ問題
11. 外国人受け入れ理論 1. 同化論, 統合論, 多様文化論, 超文化論
12. 若者文化 1. 1960年代から現代までのそれぞれの若い世代の特徴
13. 若者文化 2. 現代ドイツで族化している若者の分類
14. 若者文化 3. 若者の代表的な「族」の紹介
15. 纏めと質疑応答
16. Ulrich Beck: ドイツとグローバル化をめぐって

Evaluation Criteria) 出席, レポート, 発表, 授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する

Re-evaluation) あり.

Textbook) 教科書, 教材は要りません. 参考書は授業を進めながら推薦します.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218906>

Contact)